

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第344号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2015年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP\*NEWS

## 高校校外活動(高校1年・3年) スポーツ大会(高校2年)



最後はマシュマロで仕上げです!(バーベキュー・高3)



スポーツ大会のクライマックス、クラス対抗リレー(スポーツ大会・高2)



広いキャンパスで伸び伸びできました(湘南校舎見学・高1)

# 2015年度学校運営方針

5月号で掲載した2015年度の学校運営方針重点目標について、今月から3回に分けて詳しく紹介していきます。

## 2015年度の重点目標 PART.1

### 1 「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み (生活習慣改善プログラム)を教育施策の基本とする

体力低下・学力低下が社会的な問題として認知され、その改善が必須となった現代社会。なんとなく元気のない子どもたちの多くに、生活習慣の乱れが見られます。東海大学の付属校では、教育学部の小澤治夫教授の研究データに基づき、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、健康で規則正しい生活習慣を実践していく取り組みを2011年度から継続して行っています。研究データからは、規則正しい生活のリズムや栄養をしっかりとることが学力や意欲の向上につながるということが証明されています。学校、家庭が協力して、この取り組みを広げていきたいと考えています。

### 2 学習と部活動の両立ができる生徒を育てる

部活動は教科の学習と並ぶ大切な学習の場です。部活動を通じて学べるのは、企画力・実践力・リーダーシップといった社会で必要とされる能力であり、また、他者を思いやる心、協調性や責任感、忍耐力なども部活動によって養われます。中高大の一貫教育体制が整った本校だからこそ、受験にとられず、学習と部活動をしっかりと両立できる生徒を育てていきたいと考えています。

### 3 いつでも、どこでも挨拶のできる生徒を育てる

来校された多くの方が、本校生徒の元気な挨拶を褒めてくださいます。これは本校の良き伝統ですが、「伝統」は何も努力しないで続いていくわけではありません。意識して伝えていかなければ次第に薄れていきます。挨拶は人間関係の基本。豊かな人間関係があってこそ人生も豊かなものになります。そのことを忘れず、これからもこの伝統を守っていきたいと考えています。

## 第11回 ベストティーチャー表彰(2014年度)

**中等部タイプA** 上松 未来 先生(理科)

**高校タイプA** 宇津 浩 先生(保健体育科)・中島 仁美 先生(芸術(音楽)科)

**中・高タイプB** 和氣 吉秀 先生(数学科)



2014年度のベストティーチャー4名の教員が、第43回後援会総会場で渡邊一史会長から表彰、賞金が授与されました。ベストティーチャー制度は教員のスキルアップを目指し、後援会のご協力により2004年度に発足した制度です。前期2回の生徒による授業評価アンケートのアベレージ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員・保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプAに、中・高で後期中間までの3回の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は、中等部タイプAに上松未来先生、高校タイプAに宇津浩先生と中島仁美先生が、タイプBには和氣吉秀先生が選ばれました。なお一度、ベストティーチャーに選ばれると3年間は選考の対象から外れます。



# 学年だより 中1

## ～新入生オリエンテーション合宿～

4月7日(火)～9日(木)まで、静岡県三保にオリエンテーション合宿に行ってきました。あいにく3日間荒天続きで富士山の姿を眺めることはできませんでしたが、68名の皆さんは天候に関係なく実に元気に生き生きと活動していました。さまざまな経験をして、お友達もたくさんできましたね。少し成長することもできたかな？

### みんなと合宿

A組 村越 夢

入学式前から待っていた合宿に行きました。まだ入学して何日間しか経っていないので、不安もありましたが、意外とスムーズに3日間を過ごすことができました。

この3日間で特に一番印象に残っているのは、イチゴ狩りです。イチゴ狩りがあった合宿2日目は朝から天候が悪く予定が変わり、東海大付属の小学校に行きました。その後イチゴ狩りでした。私は最近イチゴを食べていなかったため、久々に食べることができました。しかし、目標の100個は食べられず、実際には50個ぐらしか食べられませんでした。大きなイチゴを食べることができたので満足しています。

今回の合宿では、勉強だけではなく、人と協力することを学ぶことができたと思います。この経験を生かしたいです。

### 仲が深まった友情合宿

B組 川瀬 遥

私は合宿へ行くときの初日にバスに乗りながら、友達になれるようにたくさんの人に話しかけてみようか、などと思いながらドキドキしていました。

1日目は曇りでおまけに雨も降っていました。最初に久能山に行き、グラグラ揺れるロープウエーに乗って、帰るときは1,000段くらいの階段を、傘が風に飛ばされそうになりながらも頑張って下りました。

そして何よりも思い出に残ったのがイチゴ狩りと水族館でした。イチゴ狩りでは自由行動だったので、一人残らず友達がたくさんできました。水族館では、男子もまざったグループ行動だったので、男子にも少し慣れることができました。また帰るときは、もう少しここにいたかったという気持ちでいっぱいでした。

### 楽しかったオリエンテーション

A組 佐久間 雄大

僕はオリエンテーション合宿でいろいろなことを学びました。

最初は久能山東照宮に行きました。階段の数を1段ずつ数えていきました。するとちょうど1,000段になりました。とてもびっくりしました。

次に海洋科学博物館と自然史博物館に行きました。恐竜がこんなに大きいのだと肌で感じました。水族館ではクマノミがかわいくて家で飼いたくなりました。

次の日に、A組とB組を合わせてオリエンテーションをしました。ビンゴ大会をして、上位3名の中には入れませんでしたが、最後にはビンゴできたのでよかったです。

オリエンテーション合宿を通して、いろいろな体験をし、クラスの人との仲が深められたと思います。

### 友達

B組 榎本 武蔵

僕は最初は友達が作れるか心配でしたが、レクリエーションの時間に男女関係なく、名前を覚えることができました。あまり話したことがない人でも話すことができてよかったです。

次の日、僕が一番楽しみにしていたイチゴ狩りをしました。その移動中におなかが痛くなってすぐトイレに行きました。そのあとイチゴをたくさん食べようと思って、すぐにおなかが痛くなって、52個で終わりました。本当はもう少し食べたかったなと思います。

最後の日、見事に晴れてよかったです。でもとても寒かったです。

この2泊3日を通して、新しい生活での新しい友達が出てきて本当によかったです。



鉄舟寺にて

# 学年だより 中2

## 学年集会報告

中部2年生にとって「社会の常識」「学校の常識」として思い浮かぶことは何でしょうか？そして、その常識は当然のこととして実行したり、守ったりすることはできているのでしょうか？そんな問いかけに対して、中部2年生がみんなで考える場が4月23日の学年集会で設けられました。生徒たちからは、「挨拶」は実行できているけれど、「すみません」といった謝罪の言葉はとっさに出ないときがある、と自分自身の行動を振り返る言葉が聞かれました。

### 自分自身を振り返り

A組 山崎 知歩

私は学年集会での話を受けて、常識的な行動の中で、自分自身は何ができてきているのかな、と思いました。私は、挨拶などはしっかりとできている方だと思います。でも、少し落ち込んでいるときや、具合が悪いときは、しっかりと大きな声で挨拶ができていないと思いました。ちゃんと挨拶ができていないと、相手の人は「どうして返事が返ってこないんだろう」と、不思議に思うと思います。また、相手が友達であれば、「自分のことを無視した」と思ってしまい、友達はあまり良い気分にならないと思います。ですから、次からは、私はしっかりと誰にでも大きな声で挨拶をして、相手も自分も良い気分で過ごしていきたいと思います。

私は部活動で返事練習の担当をしています。だからこそ、みんなの手本になるような大きな声で、ハキハキと返事ができるようになることも大切だと思いました。

### 相手のことを考える

B組 鈴木 ひなの

今回の学年集会で、「虚礼」についての話がありました。虚礼とは、形だけの礼儀や作法のことを言うのだそうです。相手の気持ちを考えずに挨拶をすれば、虚礼になってしまいます。相手の心を考えずに、形だけで挨拶することは、非常識といってもよいと思います。では、どうすれば、相手のことを考えた行動ができるのでしょうか。それは、とても簡単なことのように思えます。目の前にいる人のことをしっかりと、敬意をもって考える習慣を身につければよいのではないのでしょうか。自分にとって苦手な人もいるかもしれませんが、そんな時でも、必ず誰にでも、良いところはあるはずだ、という考え方が必要だと思います。そして、この世の中の人の多くが、そうした考え方ができるようになれば、自分も相手も常に謙虚になっていくのではないのでしょうか。社会の常識を守ることは大事なことです。全員がみんなの気持ちを考えれば、良い社会ができると思います。

#### A組



気持ちを込めて

#### B組



正しい姿勢で



# 学年だより 中3

## クラス目標

新しいクラスに慣れてきたようで、各クラスとも仲良く過ごしています。そんな中、各クラスの級長に「こんなクラスにしたい!」という思いを語ってもらいました。

### 我武者羅、A(えー)クラス

A組 江波戸 優真

私はこの3年A組を楽しく、明るく、団結できる力を持ったクラスにしていきたいです。中等部生最後のこの一年をクラス全員で楽しく盛り上げて、思い出深い一年にするためには、私が級長としてクラスの皆の意見をしっかりと聞き、まとめていかなければいけません。

3年A組となり、まだ2カ月しか経っていませんが、クラス目標である「我武者羅、A(えー)クラス」となるよう、体育祭や合唱祭、建学祭などの行事はもちろん、何事にもクラス全員で団結できるクラスを目指していきます。中等部生最後の一年を皆で我武者羅に自分たちらしく頑張っていこうと思います。

### なかやまクラス

B組 鯨岡 弘平

3年B組のクラス目標に込められた思いは、「な(仲良く)、か(活発)、や(やるときはやる)、ま(まとまりのある)クラス」というものです。このなかでも「やるときはやる」「まとまりのあるクラス」という目標は、達成するのが少し難しいかもしれません。

なぜかというとクラスの一人ひとりがしっかり意識しなければいけないからです。私は級長なので、他のクラスメート以上にこのことを意識して、みんなをまとめられるように頑張らないといけません。

今年度は、中等部生として最後の一年になりますが、クラスみんなで目標を達成し最高のクラスにしていきたいです。



A組 ホームルーム活動



B組 ホームルーム活動



A組 バスケットボール



女子 卓球



B組 剣道

# 学年だより 高1

今回は、学年目標とクラス目標、級長会のメンバーをご紹介します。



## 学年目標 き そう てん かい 喜想10開

学年委員長 杉浦光 石井楽 尾上愛  
副委員長 渡辺嵩耀 渡邊花菜

意味:学年10クラス全体で、誰もが驚くような、素晴らしい笑顔の輝く学年にしよう  
一人も欠けることなく全員で、お互いを尊重し合い、笑顔が溢れる学年にしていきたいです。  
一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。



級長会メンバー

## クラス目標 個性豊かな目標がそろいました

### 1組 K(規則正しく) K(輝く) K(高校生)

級長 遠藤海夕 / 副級長 倉持翔汰 馬場勇利

クラスの一人ひとりが、自分の行動に責任を持ち、目標に対しての意識を高めることのできるクラスにしていきたいと思ひます。

### 2組 Always Smile ~高校生らしく~

級長 佐藤渚 / 副級長 金子昌彦 渡辺嵩耀

高校生としての自覚を持ち、何事にも一生懸命取り組む中で、本当の笑顔を見つけれられるクラスにしたいと思ひます。

### 3組 完全制覇 ~何事にも全力で~

級長 鷗飼康弘 / 副級長 安部星南 清水純平

3組はどんなことでも他クラスに負けないよう、何事にも全力で取り組み、この学年一のクラスにしていきたい思ひます。

### 4組 やればできるクラス 和氣藹々と、YDC!

級長 中山元太 / 副級長 杉浦光 鈴木聖哉

4組は目標通り和氣あいあいとした楽しいクラスをつくることともに、やればできるクラスになれるよう一年間頑張り思ひます。

### 5組 団結

級長 太田朱里 / 副級長 藤原涼子 永田裕紀

目標のように、団結できるクラスにしたい思ひます。そのために授業と休み時間などのメリハリを全員でつけていきたい思ひます。

### 6組 なかよく かつどう むりせず らいふ

級長 小川希有  
副級長 鈴木乃彩 ニツ森裕太  
学級目標のように、みんなが仲良く、先生を含め全員が楽しいと思えるクラスにしたい思ひます!

### 7組 守・破・離

級長 名久井早紀 / 副級長 米澤風花 金崎森治

はじめは言われたことを守り、だんだんとそれを自分で積極的に行えるようになり、最後は自立し自ら目標を立て成長していこうという意味です。

Who Are You ?

### 8組 風愛友 ~ We are 福武 FAMILY ~

級長 富田玲欧 / 副級長 角本敢 田口もみじ

このクラス目標には、福武先生を先頭に、風のようにすすがしく、愛を持って友達を大切にするという思いが込められています。

### 9組 YDC(やればできるクラス)

級長 石井楽 / 副級長 富永萌 兵藤海来

みんなが仲良く積極的に動けるクラスにしていきたい思ひます。一年間通して、仲良くできるように頑張り思ひます。

### 10組 全力投球

級長 尾上愛 / 副級長 渡邊花菜 稗田裕樹

10組は個性が強いので、一人ひとりの個性を生かしながら、全てのごことに全力で取り組んでいきたい思ひます。



# 学年だより 高2

## クラス紹介

早いもので、2年生になって2カ月が経過しました。新しいクラスにも慣れてきたことと思いますので、ここで自分のクラスを思いっきり紹介していただきましょう。

### 1組 榎本 菜々

1組級長の榎本菜々です。「新学年になり、新たな体制でクラスの皆が最高だ」と叫べるような充実した1年にします。私自身も級長として成長できるよう、皆と共に頑張りますので、よろしくお願いします。

### 2組 永井 大之

私たち2組は、とても元気な田端経方先生のもと、42名で楽しく過ごしています。2年間一緒に過ごすメンバーなので、行事などを通して、仲をより深めていきたいです。2年間頑張ろう!

### 3組 相澤 一久也

3組は男女ともに仲が良く、毎日活気に溢れています。担任の大塚先生は写真を撮ることが好きなので、写真で教室が埋め尽くされてしまうのではないかと、今から心配しています(笑)。

### 4組 澤味 真梨奈

4組は、48名+加藤先生で毎日楽しく過ごしている物理選択の理系クラスです。個性が強く、普段はにぎやかですが、授業では、真剣に楽しく取り組む姿勢が見られます。2年間楽しく、思い出に残るクラスにしたいです。

### 5組 黒木 花菜

5組は明るくて、やるときはきちんとやる、けじめのあるクラスです。まだ完全には慣れていませんが、これからどんどん盛り上がって、楽しいクラスになるとと思います。

### 6組 森川 南歩

私たち6組は運動部所属が多くて、一人ひとりの個性が豊かな明るいクラスです。学級担任の近藤先生はいつも元気で、私たちを明るくさせてくれます。スポーツ大会や体育祭など全員で協力して頑張りたいです。

### 7組 齋藤 藍香

まるで、電気のスイッチのような2年7組。授業中と休み時間の教室内は、空気がまるごと入れ替わったようになります。落ち着きはあるが、ふざける時は思い切りというメリハリは、吉澤先生が持ち合わせている雰囲気だと思います。

### 8組 加藤 みなみ

私たちのクラスは、授業は真面目に集中し、休み時間はみんなと仲良くし、メリハリがあるクラスです。一人ひとりが自覚を持ち、楽しく過ごしていけるとと思います。クラス一丸となり、8組を盛り上げていきたいです。

### 9組 横井 千紘

9組は優しい人が多いクラスだと思います。短期間で写真をたくさん撮りました。授業中も静かに取り組んでいます。しかし、遅刻や提出物忘れが目立つので、2年間でなくして、良いクラスにしたいです。

### 10組 倉持 進吾

10組はクラス替えがなかったので、クラス内の様子は1年生の時とあまり変わっていません。一番の目標は、今年も建学祭で知財グランプリを取ることです。何事にもクラスみんなが一致団結して頑張りたいと思います。

# 学年だより 高3

## 級長会からの報告

### 1組

級長: 小笠原 悠太

2年連続、同じクラスメートと過ごすということで、昨年の目標も引き続き継続しながらも新たに「日進月歩」という目標を決めました。高校3年間、1人ひとりが何を残すことができるのか、日々改善していけるようにという意味が込められています。これからの行事は全て最後になるので、1つ1つの行事にクラス一丸となって取り組んでいきたいです。また、それぞれの部活動で後悔しないように皆で最後まで頑張っていきたいです。

### 4組

級長: 齋藤 楓

私たち3年4組のクラス目標は「僕らの最後の1ページ。4組カラーに染め上げろ!」です。4組になってから1年。“クラス”というまとまりは今年が人生で最後です。1年間かけて作った4組の基盤となるものを、4組独特の色で全員で染め上げていきます。

### 7組

級長: 大谷 拓摩

3年7組のクラス目標は「友情とけじめ そして卒業へ」です。この目標に込められた意味は、2年間同じクラスなので1年目のできたみんなとの仲や絆を、2年目でより一層深めていきたいという想いがあります。しかしそこで仲が良すぎて油断が生まれると、朝読や号令がおろそかになりがちになってしまいます。けじめをつけてしっかりと気を引き締めていきたいと思います。そして3年生の一番大きなイベントとなる卒業式で、先生たちからも、仲が良く、けじめのあるクラスだったと言われ、良い形で卒業できるようにという想いが込められています。

### 2組

級長: レスランク 玲央

私たちのクラス目標「舞え!〜笑顔と元気で最高の最後を〜」は、卒業する来年の春、舞い散る校の中でみんなが笑顔で高校生活最後を迎えられるように、毎日元気で過ごすことが大切だと思います。笑顔でいるためには、元気でなければいけません。常に元気に、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

### 学年委員長: 那須 竜斗

私たちは4月に3年生になり、「最高の笑顔と元気で、卒業へ」という言葉を学年全員のスローガンとして掲げました。笑顔は人から人へ伝わるものです。みんながいつも笑顔でいられればよいと思います。そしてこの学年の仲間たちが、一人も欠けることなく元気に卒業することが何よりだと思います。残り一年間の高校生活を悔いのないように、毎日大切に過ごしたいと思います。

### 8組

級長: 小柳 彩友里

私たちのクラス目標は、「結びの一年〜一つ一つを大切に〜」です。2年生から始まったこのクラスもあと1年で卒業を迎えます。この1年の間にクラスがまとまりをもって、高校生活の締めくくりができるようにという思いを込めました。また、残された毎日の授業や行事など、高校生活の一つ一つに重みを感じ生活していけるよう、この目標にしました。

### 3組

級長: 小柳 陽太郎

私たち3組の目標は「爆発する太い絆〜俺たちの完全制覇〜」となりました。3組は男女の仲がとてつもないので、卒業までにさらに太くて強い絆を築きたいです。またスポーツ大会では、前人未踏の4連覇を達成したいと思います。学年委員長を中心に最高の卒業式へ向かって楽しんでいきましょう!

### 5組

級長: 鷹埜 友香

青春という言葉の由来を紐解くと、それは古代中国の哲学理論へと結びつくそうです。四季の始まりである春と、未熟という意味合いを持つ青を当てはめたものだからか。そんな未熟な私たちにも間もなく朱夏が来ます。「輝け青春 未来へ芽吹け」、この言葉は未来への準備も輝く青春の一部にしようという5組のクラス目標です。(文責:堀込 正)

### 6組

級長: 宇留島 萌

「Let's go みんなで university (専門も可)」3年生は自分自身がどんな道に進んでいくか決断し、大学生に向けて準備する年です。この目標には全員で希望する学部や他大・専門学校に進学できるようにという想いがあります。大学が決まっても普通の学校生活もしっかり過ごしていこうと思っています。元気で明るくクラスをモットーに卒業に向けて頑張ります。

### 9組

級長: 越川 雄真

私たちのクラス目標は「夢への一歩は健康から」になりました。なぜこのテーマにしたのかというと、健康でなければ何も満足にすることができないからです。もしも何かしたいことや夢ができたとしても、体の調子が良くなければ中途半端な結果に終わってしまうので、私たちはこのテーマにしました。



## ロシア ガスプロム校の校長来校 ～SSHクラスとの交流拡大に向けて～

4月28日(火)に、ロシア・ガスプロム校の校長先生が来校されました。

ガスプロム校と本校の生徒は、これまで幾度も交流してきました。2011年度には本校生徒3名がガスプロム校を訪問し、お互いの国の文化を紹介し合うなどの交流活動を行いました。2012年度からは、本校SSHクラスの生徒とガスプロム校の生徒が、お互いの学校で取り組んでいる科学研究活動について、Skypeを用いて報告し合う活動を続けています。また2013年度および2014年度は、ガスプロム校の生徒が本校に来校し、全校集会での文化交流や、SSHクラスの生徒たちと共同で研究発表・交流会を行ってきました。

今回、ガスプロム校の校長先生と本校教員が今後の活動に関する意見交換を行い、今後も継続して交流を続けていくことを確認しました。

今年度はガスプロム校の生徒が本校を訪問するだけでなく、本校生徒もロシアを訪問し、現地で文化交流や研究発表を行うことを計画しています。



### 憲法記念講演『子どもの人権救済の現場から』—いじめ・虐待・少年犯罪—



憲法記念日を目前にひかえた4月30日(木)に、本校アリーナで、恒例行事である「憲法記念講演」を高校1年生対象に行いました。ホームルーム活動の時間を延長して1、2時間目に、弁護士で社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長の坪井節子先生から、いじめ・虐待・少年犯罪に巻き込まれている子どもたちの実情と、「カリヨン子どもセンターの活動」についてのビデオを交えてお話いただきました。坪井先生ご自身が体験されてこられた生々しい現場の実例を交えたお話は、生徒たちにとって改めて「人権とは何か」について考える機会となったようです。

#### 人を救うことの大切さ

1年2組 大坂 拓幹

今日の憲法記念講演で心に残ったことは、居場所を失った子どもに、何があっても「出ていけ」とは言わず、常に迎え入れる気持ちで向き合う人がいるということと、「死ぬ勇気があるなら、いじめに立ち向かえ」という言葉です。

いろいろな事情で行き場を失った子どもの居場所を用意し、そこで親のように接する人のいる環境が、日本中にあることに安心感を覚えました。一方、「死ぬ勇気があるなら、いじめに立ち向かえ」という言葉からは、絶対にいじめに屈してはいけない、あきらめてはいけない。そこで立ち向かう勇気こそが大切なのであって、安易に自分の命を捨ててはいけない、自分を大切にしなければならない、という強い思いに心を打たれました。一見厳しい言葉と感じたのですが、その背後にある、すべての人の存在を肯定する気持ちが、多くの人々を勇気づけ、救っているのだと思いました。

#### 「聞く」から始まるコミュニケーション

1年7組 野澤 晴

私は今回の憲法記念講演を聞くまで、いじめや虐待はテレビドラマや海外で起こっているものだと考えていました。しかし、これらのことは私たちの生活のすぐ近くに存在し、それらに対し、命がけで生きている同世代の存在を知りました。

講演を聞いている最中、私はいじめについて知っているつもりでいた自分が情けなく思えてきました。同時に私にできることは何なのかを考えました。ふと、私の身の回りにも悩みを抱えていたり、つらく困難な状況に遭っていたりする人がいるかもしれない、と思いました。そのようなとき、私はその人の悩みを解消できないかもしれません。困難な状況を打破できないかもしれません。しかし、私にもできることがあり、それが「聞く」ことなのだと思います。そしてそれが命を救うことにつながるということを学びました。

私はこれから、視野を広く持ち、悩みや不安を持つ人に一声かけ、その人の話を聞くことのできる人間でありたいと強く思っています。

## TOKAI キャンパスメッセージ

## 2020年東京オリンピックを見据え、高まる「観光学」への期待感

東海大学観光学部常任広報委員 遠藤 晃弘

観光学部は、誕生して6年目の春を迎えました。1・2期生が社会へと巣立ち、それぞれのフィールドで活躍しています。この間、日本の観光を取り巻く状況も大きく変化しました。2014年の訪日外国人旅行者数は1,300万人を超え、2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定し、観光に立脚した国づくりへの期待感は一層高まってきています。

観光学部のカリキュラムは、「観光文化」「サービス・マネジメント」「レジャー・レクリエーション」「地域デザイン」の4つの専門領域で構成され、文理融合型

の幅広い内容になっています。オリンピックを例にあげると、文化の異なる海外からの旅行者への対応、経済効果や観光ビジネス戦略、スポーツによる地域観光資源の発掘、さらには世界に通用する魅力的な観光地域づくりについて考えていくことなどが、観光学のフィールドとなるのです。

そして、観光業界で活躍するためには語学力が必須となります。観光学部では第二外国語を含めたより実践的な語学力の獲得にも力を入れていきます。海外や国内での実践的なフィールドワーク(実習・研修)を数多く用意し、

身につけた力を確かめ、高めていくことができる場としています。また、地域の観光まちづくりに係る研究・開発に取り組み、企業・自治体・大学が連携した活動を学生の教育メニューに取り入れています。

このような学びを通して、産業界のさまざまな場面で活躍できる人材を育成していきます。世界中のたくさんの人に感動のドラマをプレゼントできる「観光プロデューサー」を目指して、私たちと一緒に観光学という新しい学問の扉を開きましょう。

## 私のキャンパスライフ

小原 百梨杏

東海大学観光学部観光学科4年(高輪台高校2012年3月卒業)

「旅行が大好きで、広い世界を自分の目で見てみたい!」というシンプルなきっかけで観光学科への進学を選択しました。観光学科の学びはそんな私にぴったりで、学ぶほどに旅行や世界への興味関心が強まりました。座学だけでなく、フィールドワークも充実していて、実践を通して学ぶ機会にも恵まれています。

私は3つの実習に参加しました。「国立公園とディズニーリゾート(アメリカ)」研修は、イエローストーン国立公園と

ディズニーリゾートを訪れ、自然や人間が作り上げた有形無形の観光資源の活用と運営について学びました。「レジャー・レクリエーション実習(国内)」は、スノースポーツを選択し、実技の習得とともにレポートやゲレンデの課題について考えました。「MICE&CRUISE実習(シンガポール)」は、MICEやIR※施設に力を入れた国際的な視点での観光業の現状を学び、大型客船でのクルーズも体験しました。さらに、東海大学ならではのプログラムに参加したいと

思った私は、「海外研修航海」やブリティッシュコロンビア大学(カナダ)への短期留学にもチャレンジしました。

これらの経験を通して、私は観光に影響される経済効果の問題に興味を持つようになり、卒業論文としてIR施設の経済効果についての研究をしています。世界を見渡し、日本らしさや自分らしさを見つめ直すことができるのが観光学科の魅力です。

※IR…Integrated Resort:統合型リゾート



シンガポール実習



ホストファミリーと(本人中央)



海外研修航海(望星丸にて)



## お知らせ

### 高校2年生 研修旅行 6月18日(木)～23日(火)

- 沖縄コース ○オーストラリア 研修コース・ホームステイコース
- ハワイ 研修コース・ホームステイコース・サイエンスコース

研修旅行は高校生活のメインイベントのひとつです。

良い旅行には良い準備が欠かせません。  
実りある学習ができるように願っています。

研修旅行期間中、中等部・高1・高3は4時限授業、臨時時間割になります。

### 第7回中等部体育祭

中等部 **1・2・3**年

6月20日(土)

### スポーツ大会

高校 **1**年

6月19日(金)

高校 **3**年

6月22日(月)

## 行事予定

June **6** 月

July **7** 月

- 2日(火) 前期中間試験(中等部～3日・高校～5日)
- 4日(木) スポーツ大会(本校アリーナ)・キャリア教育(中等部)
- 5日(金) 中等部校外活動(中1:江戸東京博物館、中2:日本科学未来館、中3:芸術鑑賞)
- 6日(土) 後援会委員会① 第1回英語検定(中2、中3)
- 7日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(1回目)
- 8日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 9日(火) 校医相談日③
- 10日(水) 専門医によるカウンセリング②
- 11日(木) 学年集会(中2、高2)
- 13日(土) 漢字検定(希望者)
- 14日(日) 受験なんでも相談会(新宿NSビル)
- 18日(木) 高校2年研修旅行(オーストラリア・ハワイ・沖縄・北海道 ～23日)  
4時限授業(特別時間割:中等部、高1、高3)
- 19日(金) 高校1年スポーツ大会(さいたま総合グラウンド)  
4時限授業(特別時間割:中等部、高3)
- 20日(土) 第7回中等部体育祭(さいたま総合グラウンド)  
4時限授業(特別時間割:高1、高3)
- 22日(月) 高校3年スポーツ大会(本校アリーナ)  
4時限授業(特別時間割:中等部、高1)
- 23日(火) 4時限授業(特別時間割:中等部、高1、高3)
- 24日(水) 振替休日(高2) 4時限授業(特別時間割:中等部、高1、高3)
- 25日(木) 塾教員対象学校説明会(10:30～)
- 27日(土) 後援会学年懇談会(14:30～) 45分短縮授業

- 1日(水) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(木) 剛健旅行準備(1時限)
- 4日(土) 中等部水泳実習1回目(湘南キャンパス)  
東海大学付属推薦候補者説明会  
(特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦)
- 5日(日) 東海大学付属推薦候補者説明会  
(特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦)  
高校受験生・保護者学校説明見学会(1回目)
- 9日(木) 剛健旅行開会式(7時限)
- 10日(金)・11日(土) 第47回剛健旅行(群馬県吾妻郡嬬恋村  
東海大学嬬恋高原研修センター周辺)
- 13日(月) 剛健旅行閉会式[1時限目](45分短縮授業)
- 14日(火) 校医相談日
- 18日(土) 1・2限:夏期休暇前諸注意 3・4限:大掃除
- 19日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(2回目)
- 20日(月) **海の日**
- 21日(火) SSH科学体験旅行(～23日)  
中等部夏期講習期間(～24日)
- 25日(土) 東京都私学展(東京国際フォーラム)
- 26日(日) 東京都私学展(東京国際フォーラム)
- 31日(金) 学園オリンピック文化部門  
[国語・数学・英語・造形・理科・知財・ディベート](～8/5)

## 編集後記

早いもので今年も半分が過ぎる。もう6月である。つい先ごろまで寒さに震えていたような気もするが、クーラーがなければつらい夏がやってくる。だんだんと都会暮らしには季節感がなくなってきたが、米を主食とするわが国では、この時期田植えの真っ盛り。好物の寿司を握ってもらいながらこんな話を聞いた。「ご飯のシャリとはお釈迦様の骨のこと。昔の人はそれだけお米の一粒一粒を大事にしていたのです」と。秋にはこの小さな苗が黄金の稲穂になる。その頃にまた、時の流れの速さを感じているのだろうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>